

特別実験・演習Ⅰ（1年生）
特別実験・演習Ⅱ（2年生）
レポート作成上の注意点

● レポートの内容

(1) 特別実験・演習Ⅰ，特別実験・演習Ⅱとも通年で2通，すなわち，前期1通，後期1通のレポートを提出して下さい。1通あたり表紙を除いて10ページを目安（10ページ以上も可）として下さい。

(2) 特別実験・演習Ⅰ（1年生）では，特別研究に関する内容であり，
(a) 特別研究の基礎となる専門技術の歴史と現状を明らかにする内容を章として含むこと
(b) 特別研究で用いられる技術がどのように社会に影響を与えるかを考察している章を含むこと
が前期または後期のどちらかのレポートに必要です。（詳細はシラバスに書かれています。）

（※この項目を特別実験・演習Ⅰで達成できていれば，特別実験・演習Ⅱに含む必要はありません。）

また，シラバスにもあるように，

- (a) ワードプロを用いること。
- (b) 図，表を含めること。
- (c) 数式を含めること。
- (d) 作図ツール（表計算ソフト Excel の作図機能等）を用いること。

を満たす必要があります。

(3) 特別実験・演習Ⅱ（2年生）では，

- (a) 前期分は，特別研究に関する任意の内容
- (b) 後期分は，デザイン教育の内容

を書いて下さい。

(a) の前期分については，学修レポートを代用しても構いません（結果としてページ数が10ページを越えてもよしとします。）が，書式は，特別実験・演習Ⅱ用に整えること。例えば，レポートファイルは，特別実験・演習Ⅱレポート用のテンプレートを用いること。また，本文中に『本学修レポートでは』などの表記がある場合は，『本実験では』，『本演習では』，『本研究では』等に修正するなどし，特別実験・演習Ⅱレポートの体裁を整えて下さい。

- レポートの書式等

- レポートの表紙と本文は、必ずテンプレートを使用して下さい。
- 実験期間は、前期、後期とも期間の最初の実験・演習の授業日の年月日から最後の実験・演習の授業日の年月日までに、
提出日は、最後の実験・演習の授業日の年月日として下さい。
(テンプレートには令和〇年〇月〇日が記入されています。)
- テンプレート中の赤字は記入後、黒字に変更してください。

- レポートの提出前にすること

- (1) PDF 形式ファイルの作成

特別実験・演習のレポートは WORD 等のワープロ (TeX を含む) で作成した元ファイルとは別に、PDF 形式のファイルも合わせて提出してもらいます。PDF 形式で出力するには、最近の WORD であれば PDF として保存することができます。

レポート作成に TeX を用いる場合は、スタイルファイルを用意していませんので、WORD ファイルを参考に同程度の書式で作成してください。

- (2) PDF ファイルの方でレポートの内容確認

本レポートは後日、JABEE などの外部審査員が中身を見ることがあります。外部審査員は PDF 形式のファイルを見ます。ところが、WORD 上では問題無いのに、PDF にすると表示がおかしくなるなどの事象が何例か起きています。そこで、(1)で作成した PDF ファイルの中身をよく見て (PDF ファイルを印刷してから確認すると良い。) 内容や表記、レイアウトに問題が無いかどうかを確認して下さい。

特に、WORD でページや図の参照機能を用いている場合には PDF ファイル上で、きちんと参照ができていることを確認すること。

- レポートの提出方法

レポートは、上記のようにワープロで作成したファイルと PDF ファイルの2つを提出してもらいます。

専攻科では、本特別実験・演習のレポートに限らず各種提出物は、メール添付の指定がない場合は、『Blackboard』を利用します。

- その他

- かならず、事前に指導教員に添削してもらってください。添削後の最終稿を提出するようにしてください。
- アップロードしたレポートと同じものを指導教員にもメールに添付して送ること。
(指導教員はこのレポートを元に特別実験・演習の成績をつけますので、必ず送っておいて下さい。)